令和5年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	80	学校名	静岡県立浜松商業高等学校	校長名	井口 裕史
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	高度で実践的な課題解決型の商業教育や学習指導を通して学力向上や進路実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に「満足している」「適切な選択科目がある」と答える生徒 85%以上 ・日商簿記3級合格 70%以上 ・情報処理技術者試験合格者 10人以上 ・就職 希望企業内定 100% ・進学希望進学先合格 100% ・進路だより等の発行 ・生徒一台端末のスムーズな導入 ・授業で教員のICT活用(一部でも) 100% ・スムーズな観点別評価の実施 ・「先生方は教材や教え方に様々な工夫をしている」と答える生徒 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に満足 86.3%、 ・適切な選択科目 88.7% ・日商簿記3級合格 68.2% ・基本情報合格 3人 ・就職・進学とも 100% ・進路だより 7回発行 ・教員のICT活用 76.8% ・教え方に工夫がある 76.8% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招請するなど科の特色に応じた授業展開を図った。 ・課題研究の講座をリニューアルし、より探究的な要素を取り込んだ。生徒が主体的に考え課題に取り組むことで、発表会の充実にもつながった。 ・マーケティング・マネジメント分野の資格取得を目指し、放課後の自主学習会を企画することで生徒の意識向上を図った。 ・1学年に端末を導入し、それを活用した授業を行うことで、教員の挑戦や模索が見られた。 ・観点別評価の導入に伴い、教材を工夫し、自ら考え、表現をする力の育成に努めた。 ・ICT推進員による研修を複数回実施し、職員の活用を推進した。活用スキルに差があるため、次年度は実践例の共有やミニ研修等を進め活用をさらに促進する。
イ	活力ある学校行事や部活動・特別活動等を通して、豊かな人間性や健やかな心身を身に着けた生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校行事は楽しく有意義」と答える生徒 90%以上 ・全国大会出場 10部活以上 ・県大会出場 20部活以上 ・「部活動やボランティア活動に積極的に取り組み、主体性や協働性が育成されている」 85%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行 2年生 94.4% 3年生 95% ・スキー教室 1年生 98.5% ・全国 11部活 ・県 23部活 ・協調性の育成 86.8% 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で限られた時間や制約がある中で生徒、先生方ともよく頑張って成果を上げた。 ・スキー教室はしおりをデジタル版にし、ICT化を図った。 ・各部活動とも主体性・協働性を育成している。

様式第3号

ウ	<p>計画的かつタイムリーな生活指導を通して、基本的な生活習慣を確立し、規範意識や倫理観を持つ、自立した主権者としての資質を持った生徒を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会年間 12 回以上、学年主任会年間 5 回以上 ・個別面談年間 3 回以上実施。 ・「主体的に挨拶ができる」生徒 90%以上 ・SNS による違法行為 0 %。 ・交通事故前年比 10%減。 ・自転車交通違反切符前年比 10%減 ・「基本的な生活習慣が身についている」生徒 85%以上 ・「スマホ、インターネット、マナーの向上に対して適切な指導が行われている」生徒 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年主任間で情報交換及び連携に努めた。 ・個別面談 3 回以上実施 ・挨拶できる 90.3% ・SNS 違法行為 1 件 3 名 ・交通事故 1.5 倍に増加 ・違反切符 30% 増 ・基本的な生活習慣 86.5% ・マナー向上指導 85.1% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・個別面談を生活指導や進路指導に活かすことができた。 ・挨拶については年間を通して重点的に取り組み、良くなってきている。 SNS 講座の継続実施と生徒課通信により未然防止に取り組んだ。違法行為者は理解不足により行為に及んでいる。引き続き継続的に呼び掛けていく。 ・重大事故は 0 件だが事故件数は増加した。朝の登校時間に余裕を持たせる指導を徹底したい。
エ	<p>安心安全な学校づくりを推進する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練年 3 回実施 ・避難経路を理解し 15 分以内で避難点呼完了 ・地域防災参加率 70%以上 ・每学期 1 回以上の安全点検 ・保健だよりの定期的発行 ・歯科受診率 60%以上 ・タイムリーな啓発 ・四半期ごとの執行計画の立案と執行率 95% 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天で 2 回非実施、防災動画視聴で代替 ・地域防災 24% (高校生対象外 42%、自己都合不参加 34%) ・安全点検年 3 回実施 ・保健だより 7 回発行 ・歯科 80%超 ・年度末執行 95%達成 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でここ数年、十分な訓練が実施できていない。次年度は現実的な避難について再検討し、実施に努めたい。 ・学期に一度、点検を実施しているが、些細な破損でも気付いた時点で報告することを徹底したい。 ・要受診者への積極的アプローチにより、歯科受診率が大幅アップした。 ・節電アイデア募集等の呼びかけをし、全校で取り組み、使用量は昨年を超えなかった。
オ	<p>企業・大学・地域・家庭等との連携を深め、定期的な情報発信を行い、相互交流を活発に行い、学校評価を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・HP の更新 100 回以上。 ・新聞掲載依頼 15 回以上。 ・「教育活動は評価できる」保護者 80%以上 ・「連絡や情報提供がきめ細かく行われている」保護者 80%以上 ・「浜商のことが分かった」来校者 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP200 回以上、県 Twitter 掲載 16 回 ・新聞掲載依頼 11 回 ・教育活動の評価 82.5% ・教育方針や活動報告の情報提供 75.3% ・体験入学で理解できた中学生 97.1% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・HP 更新回数頻度は上げることができた。今後はより効果的な発信方法を検討する必要がある。 ・保護者への連絡はきずなメールで配信することでお便りを配布するよりも周知徹底を図ることができた。今後は事前連絡に着目し、きめ細やかな対応に努める必要がある。 ・体験入学やオープンスクール、中学校訪問の充実を図り、理解が深まった。

様式第3号

カ	<p>ICT 推進や改革を意識し、効率的な業務の遂行と教育環境の整備を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間・期限の厳守 ・会議資料の確実な事前配付（提示） ・マネジメントの徹底 ・行事検討委員会の開催と改善案の提示 ・計画的整備の徹底 ・部活動計画の提示の徹底（毎月・長期休業） ・必要な文書を誰もがすぐに取り出せる状態になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議は全て時間内で終了 ・事前に会議資料フォルダ内に投入 ・行事検討はLHR計画と並行して実施 ・必要な文書は浜商文書共有へ格納 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間管理システムの確実な入力を職員に徹底することができた。 ・浜商に必要な行事について検討し、LHR計画と合わせて整理することができた。 ・部活動計画については毎月提示している。今後はHPにも公開していく。
キ	<p>生徒教職員ともに高い志と学び続ける姿勢を持ち、「我々浜商職員は、人を大切にします。学び続けます。地域に貢献します。」の三訓を力強く実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書指導の徹底 ・「読書する習慣が身についている」生徒60%以上 ・ミニ研修の実施5回以上 ・課題解決型グループ討議2回以上 ・研修会1回以上 ・全教職員の外部研修1回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書習慣62% ・ミニ研修5回以上実施 ・課題解決型グループ討議2回 ・研修会1回 ・外部研修は年次別研修者を中心に参加 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・読書習慣は定着しつつある。朝読書の時間に教員ができる限りに行けるように、朝の打合せの一層の効率化が必要である。 ・ICT研修を中心に実施することができた。また部活動指導の理解を深める研修も計画・実施した。いずれも全職員に浸透するよう、引き続き実施していく。